

農学部

●学部の教育理念と教育目的

本学部は、生命現象及び循環・再生の概念の理解に基づき、生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する高度な専門知識・技術を修得させ、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。

●学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

<知識・理解>

生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する専門知識と技術を修得している。

<思考・判断>

循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題の原因を論理的に説明でき、解決策を見出すことができる。

<関心・意欲、態度>

上記の諸課題を解決するため、協調性と高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

<技能・表現>

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

●学部のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

本学部は、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、また、農学が広範な総合科学であることを考え、食料・資源・環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、多様な能力・適性をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

<知識・理解>

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業・生物資源または工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有している。

C. 高等学校で選択履修した教科・科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

<思考・判断>

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

<関心・意欲, 態度>

地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲を持っている。

<技能・表現>

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。